

(別紙様式1)

令和7年度 学校評価計画書

学校名

三田市立藍中学校

1 学校教育目標

「夢や希望を実現する 心豊かにたくましく 共に生きる生徒」の育成
～ウェルビーイングを実現する学校を目指す～

- ① 信頼される魅力ある学校づくり
- ② 学校の組織力向上、教職員の資質・指導力向上
- ③ 小中一貫した教育

2 今年度の学校重点目標

- (1) 気持ちのよい挨拶があふれ、規律ある学習指導が実践できる学校づくりを推進する。
- (2) 教職員自らが人権感覚を一層高め、命や人権を大切にされた教育実践を進める。
- (3) 小中の連携により、家庭学習を含む基本的な学習習慣の定着に努め、生徒の学力向上を図る。
- (4) 特別支援教育を根幹に据え、一人一人が大切にされる学校づくりを推進する。
- (5) ICTを活用した授業を推進する。(デジタル教科書、学習ポータルサイト等の活用)
- (6) 生徒とともに美しく過ごしやすい学習環境づくりを推進し、生徒の情操を高める。
- (7) 楽しさや喜びを実感する体育・芸術文化活動等を充実させる。
- (8) 学校における危機管理意識を高め、全職員が地域の信頼に応える学校づくりに努める。
- (9) 学校園所連携を積極的に進め、地域の課題に協力体制で取り組む。
- (10) 勤務時間の適正化並びにハラスメントのない学校づくりを推進し、風通しの良い誰もが働きやすい職場環境をめざす。

3 自己評価項目

分野・領域	評価項目 (取組内容)
教育課程・学習指導	小中連携の充実を図り、家庭学習に関わる共通実践を進めるとともに、教育研修を進め、教員の資質・授業力向上。
	「朝の学習タイム」「ひょうごがんばりタイム」と連携し、基礎学力の定着と家庭での学習習慣の定着に努める。
生徒指導 いじめ防止	本校「いじめ防止対策基本方針」の見直しに基づき、いじめ問題に対して、迅速かつ組織的に対応する。
	教育相談の充実を図り、生徒の思いや願いをくみ取りながら生徒の共感的理解に基づいた生徒指導・教育相談に取り組む。 不登校生徒対応。(不登校支援プラン)
組織運営	「学びあい、高めあえる」環境づくり。 生徒指導をはじめ生徒対応などに組織的に取り組む。
	特別支援教育の視点を生かした、すべての生徒に分かりやすい学習指導の工夫、授業改善に取り組む。

(別紙様式1)

保護者、地域住民等との連携	人権意識、危機管理意識の向上と、様々な教育課題への組織的な対応により家庭、地域に信頼される学校づくりに取り組む。
	コミュニティスクールの活用。地域の組織との連携。生徒会を中心に地域で活躍できる生徒の育成。